



シアノーノー (郷土芸能)

七夕集会

読み聞かせ

ナポレオン留学 「西山海の子の日」

ナポレオン留学 「お別れ歩こう会」

長浜小学校との交流

西山地区お別れ歩こう会

最後の運動会集合写真

たくさんの思い出をありがとう！

いつか私も

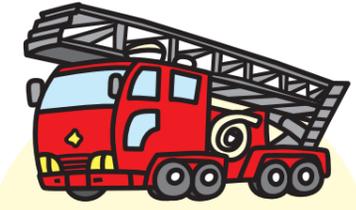


川内南中学校 1年 北原碧海

防火・防災に関する作文コンクール入賞



北原碧海さん(川内南中学校1年)



(財)日本消防協会などが主催する平成24年度防火・防災に関する作文コンクールにおいて、北原碧海さんが優秀賞を受賞。市役所本庁で、岩切秀雄市長から表彰の伝達がありました。(原文は次の通りです)



三年前、私の父は消防団に入りました。しかし、今年の夏まで、私は消防団についてあまりよく分かっていませんでした。

消防団とは、いつもは普通に仕事をしているけれど、火事が起こると駆けつける人たちです。また、火事だけでなく災害などの時も、地域をよく知っている消防団員が活躍してくださいませ。東日本大震災。あの時、すぐそれだけの地域で動き出したのも消防団だったそうです。

父が消防団に入って三年目。消防操法大会の選手になったと言いました。どんな大会なのだろうかと思い、応援に行くことにしました。消防の大会とはどんなことをするんだろう。おもしろそう。「私のそんな軽い気持ちは、会

場に入ったとたんに消えました。会場にいる人全員が、真剣でほんの少しのミスも許されないという気迫が感じられました。父が出場している競技内容は、水槽から水をくみ出し火災を想定した的を倒すという内容でした。火事の現場では一分一秒でも速く行わなくてはならないことなんだと、改めて気づかされました。そして、いつもと違った真剣な父の姿を目にしました。父の姿からは、「市民の安全を自分たちで守る」という強い責任感があふれていて「父はすごい」と感じました。

大会の数日あと、父は「薩摩川内市消防局」のホームページを見せてくれました。ホームページの中には、先日行われた消防団の大会のコーナーがあり、写真がありました。どの写真を見ても真剣な消防団員の方々。一枚一枚の写真を見ながら、この人たちが私が住んでいる薩摩川内市を守ってくださっているのだと思ひ、とても頼もしく見えました。次のページを見ると、私の中の消防団のイメージをさらに大きく変えた写真がありました。私の消

防団のイメージは、火を消す、重い道具を持って走る、危険というものでした。そして、男の人の仕事というイメージしかありませんでした。ところが、私が目にした写真には女性の団員の方々が、同じように競技を行っていました。私とその写真をみていることに気付いた父は、「今は男の人だけでなく、女の人もたくさん頑張っているんだよ。」と教えてくれました。一生懸命な女性消防団員の写真を見て、純粋にかっこいいと思います。女性でも地域のために頑張れるのだと思うと、私も将来役に立てるかもしれないと思ひ、うれしくなりました。

火事は一人一人の大切な財産や思い出を一口で飲み込みます。そんな恐ろしい火事から私たちを守ってください頼もしい消防団員。いつか私も大人になったら、市民の安全を守る消防団員の一人になれるよう頑張りたいと思います。私の消防団のイメージを変えてくれた写真に感謝しています。

(原文掲載)



西山小学校

海の子 百合の子 風の子 ナポレオン岩をみおろす

本校は、下甕島の西、ナポレオン岩を眼下に見下ろせる瀬々野浦地区の高台にあります。明治13年に「瀬々野浦小学校」として設立され、数々の輝かしい伝統を築いてきた本校も今年3月に132年の歴史に幕を閉じます。本年度の児童数は2人ですが、保護者や地域の協力の下、最後の西山小学校在校生として「感謝の気持ちを表現できる子ども」になつて欲しいと願ひ、さまざまな取り組みを実施してきました。

- ① 伝統継承活動
地域の方々により、郷土芸能「シアノーノー」が子どもたちへ継承されており、毎年11月10日に大帯姫神社への奉納踊りとして披露されています。
- ② 地域との交流「子は宝」
交流給食や七夕集会など地域の方々との交流活動を行ってきました。朝の活動の「読み聞かせ」でも地域の方々さまざまな本を読んでくださいました。
- ③ ナポレオン留学
平成12年度から地域が主体となつて始められた「ナポレオン留学制度」では、遠くは関東(栃木・千葉)からも多くの子どもたちが学びました。「西山海の子の日」や「お別れ歩こう会」など多くの行事で思い出を胸に巣立っていきました。
- ④ 長浜小学校との交流
4月から統合校となる長浜小学校との交流を行ってきました。本校ではできないグループ学習や集団での活動を体験し、他者との交流を深めることを通して、子どもたちの集団の中で学ぶ心の準備をさせていただきました。

VOICE

西山小学校 校長 長田 郁郎

本校は、「海の子・百合の子・風の子」を目指す子ども像として掲げ、また、「地域に息づく我が学舎」を目標に教育活動に取り組んできました。創立132年の歴史を積み重ね、約2300人余りの卒業生を送り出し、3月に閉校します。子どもたちの輝かしい未来に期待すると共に、これまでの皆さま方のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

